

# ICT・ビジネス・英語を学び、在学中に全員が必ず起業に挑戦！ 情報経営イノベーション専門職大学（愛称・IU）



学部・学科

情報経営イノベーション学部（4年）  
情報経営イノベーション学科（入学定員200名）

大学の特色

1. 予測不能な時代を乗りこむ人材を育てる学びの3本柱  
本学では、ICT・ビジネス・グローバルコミュニケーションを柱とした学びを通して、今、日本で急務とされる「デジタル戦線」からの復興を担い、これからの予測不能な時代も恐れず乗りこむ人材の育成を目指しています。
2. 専任教員の8割が実務家教員  
専任教員の8割が実務家教員で、本学の掲げるビジョンやミッションに共感した実務家教員で占められています。また客員教員には、吉本興業会長やミクシィ会長など、300人を超えるビジネスリーダーたちが名を連ねています。
3. 在学中に全員が必ず起業にチャレンジ  
4年の間に、全員が一度は起業にチャレンジします。もちろん成功を目指しますが、不確実なものへのチャレンジ、そしてそこで失敗や困難を重ねるという経験も、本学のカリキュラムでは重視しています。

## 注目授業ビッグアップ

イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ  
（情報経営イノベーション学科 職業専門科目）

イノベーションプロジェクトは、在学中に全員が起業にチャレンジするという本学の特徴的な学びを支える重要な4年間を通して学ぶ必修科目です。1年次から起業するための知識やスキルを学び、そこに「ICT」「ビジネス」「グローバルコミュニケーション」について身につけた知識やスキルを掛け合わせ、自ら考えたアイデアの実現を目指します。

システム設計演習  
（情報経営イノベーション学科 職業専門科目）

情報システムの構築や設計について理解し、演習形式でその手法を学びます。社会を動かす仕組みとして必要不可欠なシステムの設計や構築、改善などを自ら行うだけでなく、指示ができるようになることを目指します。

スタートアップ基礎（起業論）  
（情報経営イノベーション学科 職業専門科目）

人々の生活や社会を変えるための新たなビジネスモデル・市場開発、そのために必要なものを、理論や事例、グループワークで学びます。多様な変化と価値観の中で、学生が起業家として挑戦すべき目標を定めます。

グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション  
（情報経営イノベーション学科 展開科目）

ビジネスアイデアや企画提案が採用されるために必要な資料準備や場面に応じた提案技術を学び、提案する相手を説得する効果的な技法を身につけます。また、文化的背景の異なる人々に対して、日本語・英語問わずアイデアを伝えられる実践的スキルの習得を目指します。

## 学長メッセージ



IU 学長

中村 伊知哉 氏

1961年京都生まれ。京都大学経済学部卒業後、慶應義塾大学で博士号取得（政経・メディア）。少年ナイフのデレククターを経て旧郵政省入省。その後、MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究員、慶應義塾大学大学院教授を歴任。2020年4月より現職。

## 日本を「デジタル敗戦」から救う 次世代イノベーターを養成

なぜ今、ICTとビジネスを学ぶのか

平成がはじまった1989年、日本は「IMD国際競争力ランキング」で位を誇っていましたが、2020年には34位にまで順位を落としてしましました。つまり、平成が始まってから1年にランキングで日本の国際競争力は下落したわけですね。なぜそのようなことになったかという点、かなりの部分、デジタル化への対応の遅れが影響していると思います。昭和の時代、アナログで大成した日本は、その成功体験がゆえに、世界中がデジタル化に舵を切っていく中で、切り替えに失敗したのです。

ではどうすればこうした「デジタル敗戦」から日本は復興できるのか。私たちが辿り着いた答えは、従来の大学とは異なる、新しいタイプの人材を育成する場の創出、もつと具体的に言えば、産業界と連携して、GoogleやFacebookの創業者たちのようなイノベーターの育成を目指す新しい学びのプラットフォームを作ることでした。

## IUが育成を目指す人材像とは

本学（IU）の教育理念は「変化を楽しむ、自ら学び、革新を創造する」。これこそが私たちがIUを目指す人材像です。IT時代が変化の激しい時代だとすれば、AI時代は先が見通せない時代とも言えます。そのような中で変化を恐れることなく、むしろ楽しんで、チャンスとして受け入れられるような人を育てたいです。

また、プログラムミソにしろビジネスモデルにしろ、今学んでいることが15年後、そのまま役に立つわけではないということを理解し、常に新たな知識やスキルを学び続けられる人になってもらいたいと思います。そして知識を得ただけでは終わらせず、手足を動かす、社会のためになるプロダクトやサービスを実際に作り続けられる人を育成したいと考えています。

## 従来の大学にはないIUの魅力とは

私は学生時代、毎日大学へは通っていましたが、講義で学ぶことが社会で何の役に立つのか分からず、いえるのはもっぱら学食が部室でした。そのため、卒業する時も自分はこれこれ問題なくやっていると手応えのないものを全く得られないまま社会に出てしまいました。幸いその頃は日本の企業に体力がなかったのが、自分のような者もすっかり鍛え上げてくれましたが、今ならもっと大変な目にあっていただきたいと思います。実はIUは、そんな学生だった私たちが、絶対に対処できる進歩したいと思える学校を作ろうと考えてできた学校です。各界の第一線で活躍する面白い大人たちが大勢いて、今の社会の空気がチノロジーがもたらすワクワク感を思う存分感じることができます。ここならICTやビジネスに関する多様なスキル、自分は大丈夫だという自信、自力では得難い豊富な経験なども得られるでしょう。また、オープンでフラットな環境を標榜するIUでは「先生」という呼称を禁止しています。おそろくまだ万人には理解されにくい面もありますが、従来の大学にはない、たくさんの方々がここに集まっています。

学校法人 電子学園  
情報経営イノベーション専門職大学  
〒131-0044 東京都墨田区文花1-18-13  
TEL : 03-5655-1555  
URL : https://www.i-u.ac.jp